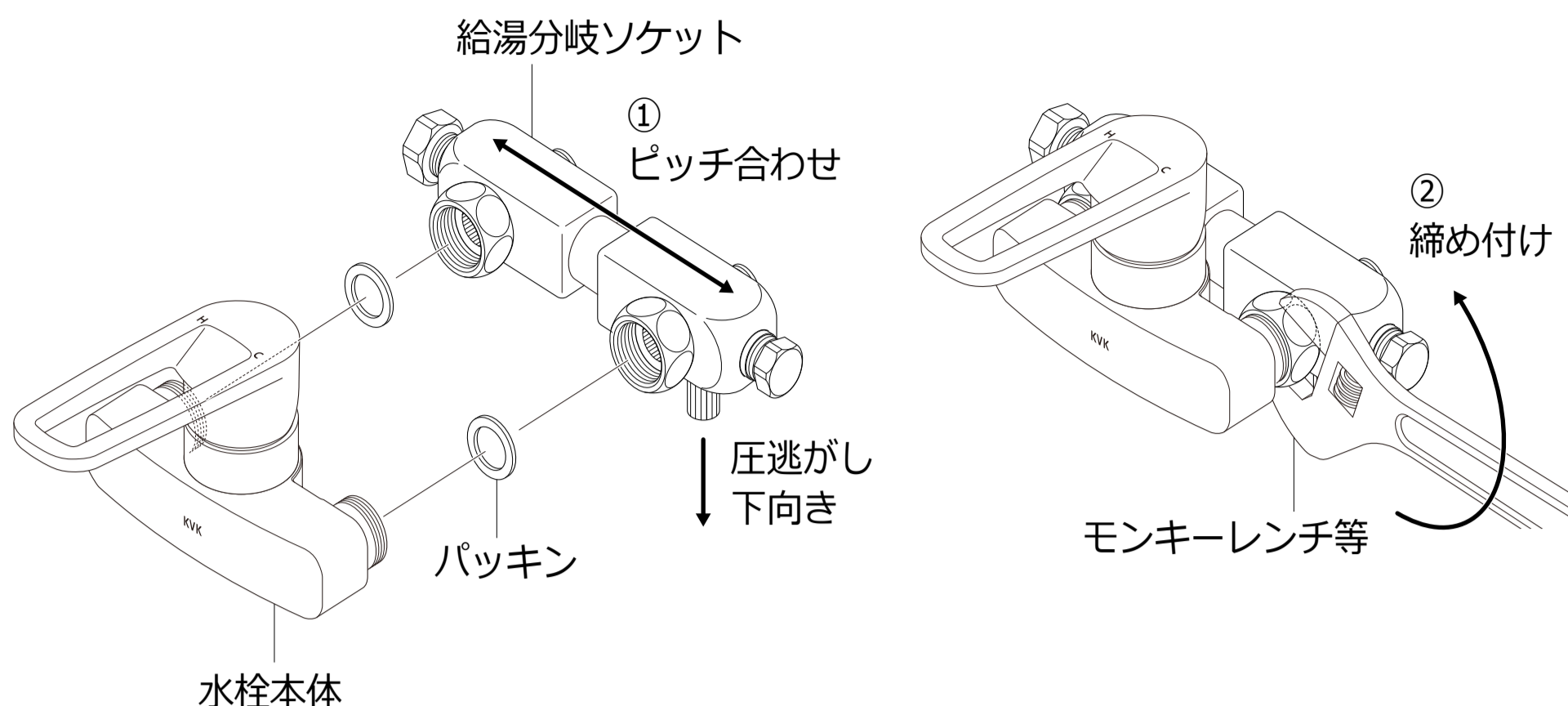


分岐ソケット【Z350710】 施工説明書

給湯分岐ソケットと本体の取り付け

- 給湯分岐ソケットのピッチを水栓本体のピッチに合わせます。
- 給湯分岐ソケット(圧逃がしが下向き)と水栓本体の間にパッキンを入れ締め付けます。

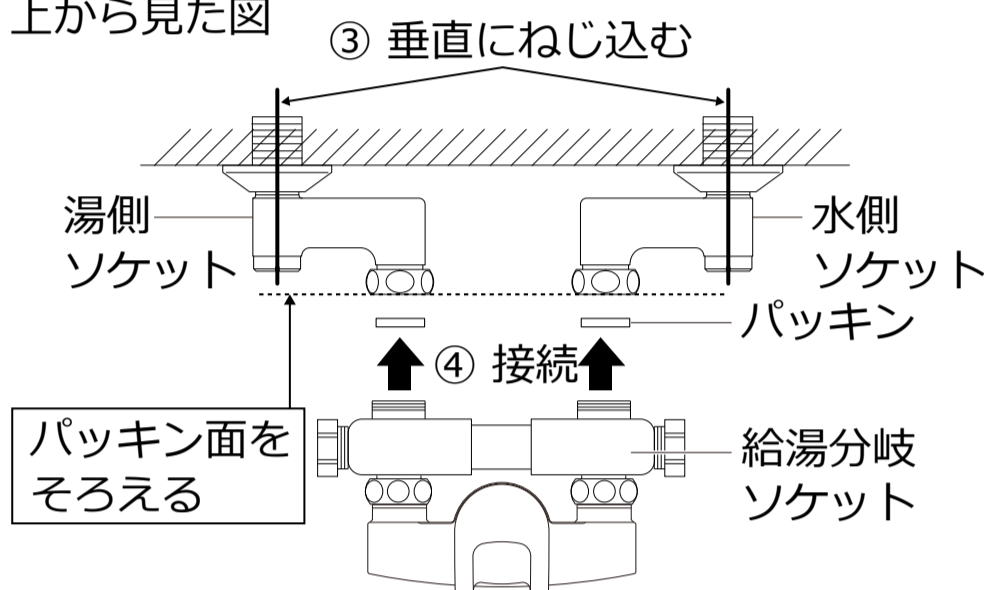
注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



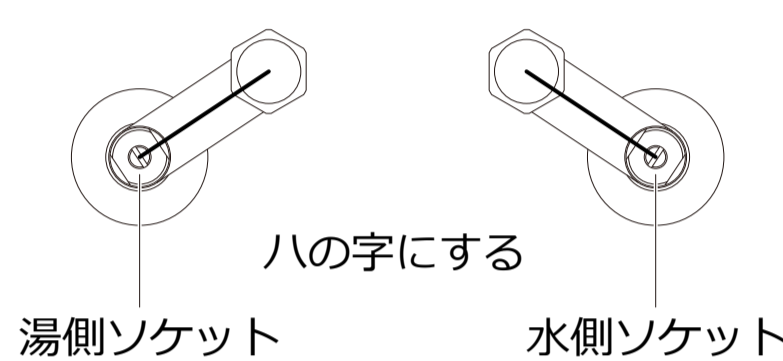
- ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。(シールテープの巻き数にて調節してください。)
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
- ソケットと給湯分岐ソケットを接続します。

注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉 上から見た図



〈図2〉 前から見た図



分岐水栓の取り付け

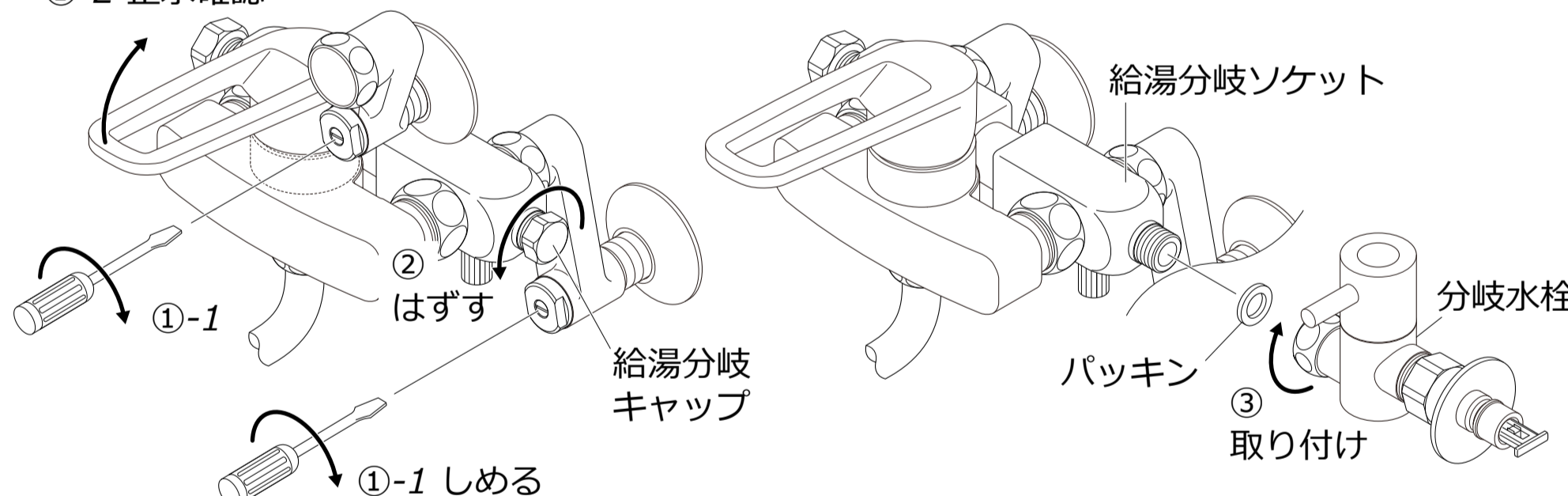
分岐水栓取り付け時のご注意

- 警告** 給湯分岐キャップは接続時以外ははずさないでください。接続時以外ははずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。
- 取り付け後の通水は、必ず分岐水栓に給湯ホースを接続してから行ってください。給湯ホースを接続しない場合は、分岐止水ハンドルを閉めてから通水してください。高温の湯が出てやけどをしたり、湯が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 給湯ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 分岐水栓のワンタッチノズルには緊急止水機能がついていますので、万一給湯ホースがはずれた場合や給湯ホースを付けない状態では緊急止水機能が働いて通水されません。
 - 本製品は給湯接続専用です。食器洗い乾燥機に接続する場合、給湯器の設定温度によっては通水接続しできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。
 - 接続の場合は、接続する機器(食器洗い機など)の給水条件および施工上の注意事項をよくご確認ください。
 - 分岐水栓以降に接続された設備については保証の対象外です。
 - 給湯ホースをはずす際は、必ず分岐止水ハンドルが閉まっていることを確認してください。通水中に給湯ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

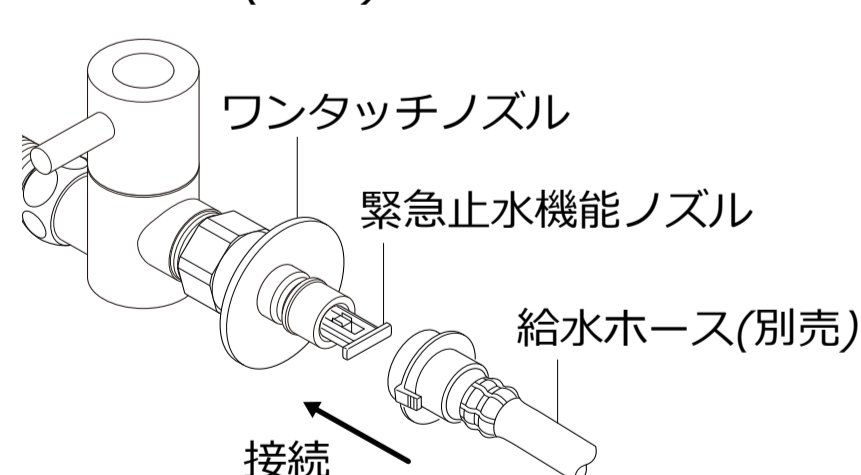
- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかりしめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 分岐水栓を接続する側の給湯分岐キャップをはずします。
- 給湯分岐ソケットに分岐水栓を取り付けます。

注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

①-2 止水確認

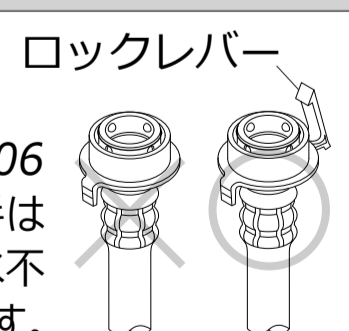


給水ホース(別売)の接続



給水ホース(別売)について

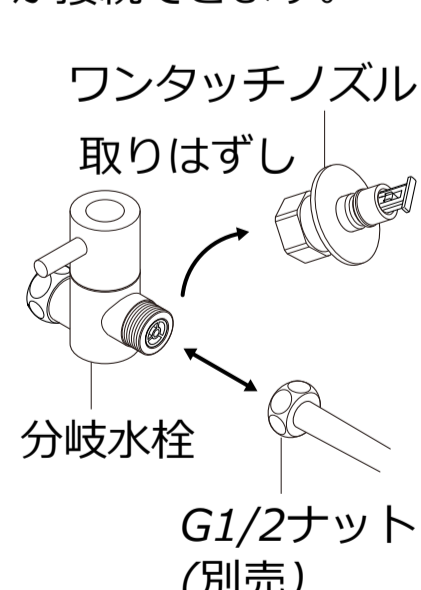
注意 日本電機工業会規格JEM1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。



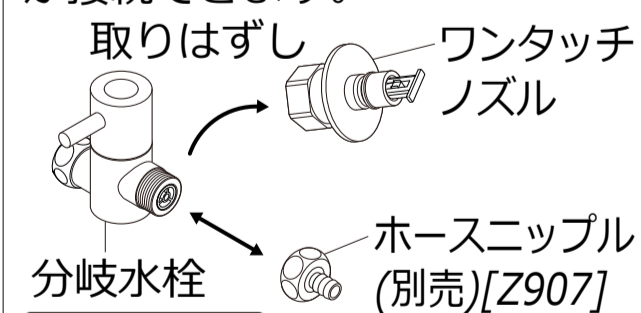
その他の接続例

分岐水栓先端のワンタッチノズルは取りはずしができます。この場合、緊急止水機能は働きませんのでご注意ください。

G1/2のナット(別売)が接続できます。



ホースニップル[Z907](別売)が接続できます。



注意

- ホースニップルの接続先では止水しないでください。ホースが抜けるおそれがあります。
- ホースニップルは食器洗い乾燥機には使用できません。

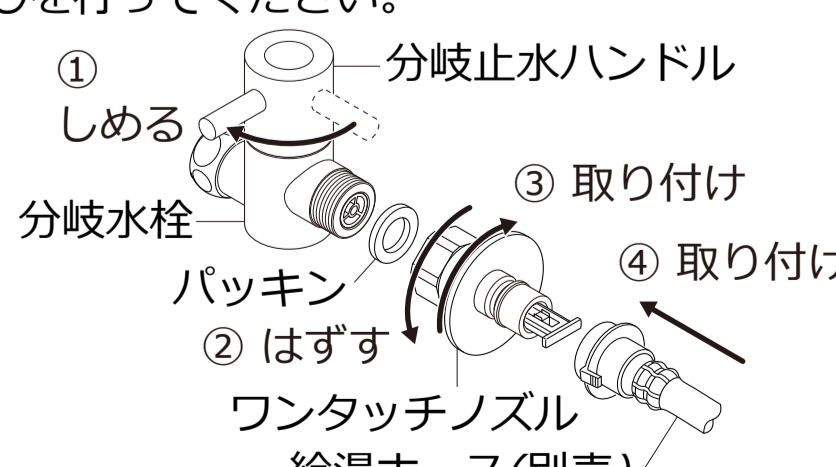
ワンタッチノズルの圧逃し方法

万一通水中に給湯ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

- 分岐止水ハンドルをしっかり閉めます。

警告 分岐止水ハンドルは確実に閉めてください。開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、湯が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ワンタッチノズルをはずし、圧を逃します。
- ワンタッチノズルを分岐水栓本体に取り付けます。
- 給湯ホースをワンタッチノズルに取り付けます。



通水確認

注意 水栓取り付け後、通水して湯の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。